



「焼津めぐる戦略」で駅周辺のにぎわい加速化 ～地域特性を活かした「官民連携」のまちづくり～

焼津市では、都市計画マスタープランにおいて都市拠点等として位置付けている焼津駅から焼津漁港周辺地域の魅力向上と多様な交流・循環が生まれるまちづくりを更に推進していくため、「焼津めぐる戦略(MEGURU)」を策定しました。

2045年度を目標とし、官民連携により、焼津駅周辺の再編や新港エリアにおける新たな観光交流拠点の形成など各エリアの特性を活かした拠点づくりを進めます。

また、魅力的な歩行空間の整備や新たなモビリティの導入等による循環ネットワークを形成し、本地区のにぎわいづくりを加速化させていきます。

■焼津めぐる戦略(MEGURU)の概要

名称に込められた意味	各エリアを訪れた人やにぎわいが“巡る”という言葉と、MEGURUの頭文字が表す【M:Marine(海)、E:Engagement(協働・関わり)、G:Gateway(玄関=駅・港)、U:Urban(まち)、R:Relation(つながり)、U:Unite(ひとつになる)】という意味が込められています。
------------	---

■3つの戦略

【戦略1】

■地域特性を活かした6つの魅力的なエリア形成

JR焼津駅前や商店街、内港、新港など各エリアの特性を活かした魅力づくりを進めます。

【戦略2】

■にぎわい創出を促進する「ダブルサーキュレーション」の形成

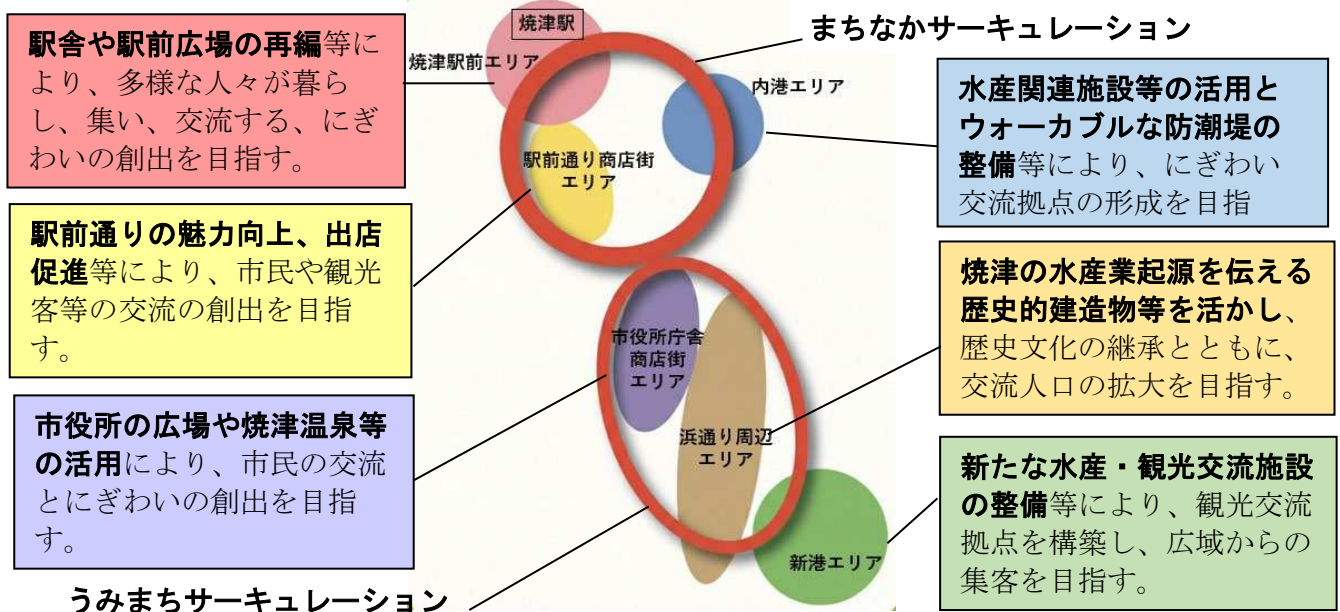
2つの循環ネットワークを形成し、にぎわい交流拠点の形成を目指します。

【戦略3】

■官民連携によるエリアマネジメントの推進

市民や事業者、行政が連携してまちづくりを進める体制づくりを推進します。

■将来都市構造 【官民連携による6つエリアと2サーキュレーションのまちづくり】



問合先 焼津市都市政策部 都市整備課 開発担当 小林・新海
TEL054-625-7050 FAX054-626-2184

この地域は、焼津漁港とともに発展してきた本市の中心的なエリアであり、多様な地域資源や歴史・文化が集積しています。

これらの特性を活かしながら、人の交流やにぎわいが生まれ続ける魅力あるまちの形成を目指します。

